

## 部 会 報 告

# ISO/TC 127/SC 2/WG 22 (ISO 17757 土工機械及び鉱山—自律式機械・鉱山システム安全) 2018 年 4 月 ベルリン国際作業グループ会議報告

標準部会 ISO/TC 127 土工機械委員会国際専門家 (Expert) 西嶋 章治 (コマツ)

国際標準化機構 ISO の専門委員会 TC 127 (土工機械) 傘下の国際作業グループ ISO/TC 127/SC 2/WG 22 (ISO 17757 土工機械及び鉱山—自律式・半自律式機械及び鉱山システム安全) 作業グループ会議が 2018 年 4 月にドイツ国ベルリン市で開催され、前回 1 月の東京会議に引き続き協会標準部会 ISO/TC 127 土工機械委員会から国際専門家 (Expert) として出席した西嶋章治氏の報告を紹介する。

- 1 開催日：2018 年 4 月 16 日 (月) ～ 17 日 (火)
- 2 開催地：ドイツ国ベルリン市 VDMA (ドイツ機械工業連盟) 会議室

### 3 出席者：15 名

米国 6 名、カナダ 2 名、ドイツ 2 名、オーストラリア 1 名、日本 4 名

### 4 会議概要：

ISO17757 は昨年施行されたが、追加・変更を引き続き行っている。大きくは、Amendment (Short Term)、と Phase 2 (Long Term) に分けて進めることとなっている。今回の会議では、Amendment の DIS (Draft international standard) を作成すべく議論が行われた。また、Long Term に位置づけられている Stop System についても話題に上がったが、問題提起のみ行われ、次回以降の Phase 2 での議論となる。

Amendment に関しては、前回東京会議で議論した内容を織り込んだ案文のレビューを行う形式で進められた。2 日間の会議のうち Amendment のレビューで 1.5 日を費やし、このレビューでほとんどの時間を使ったと言ってよい。本 Amendment は、DIS Ballot に進む。コメントについては、2018 年 12 月 (または 2019 年 1 月) の WG 会議で最終的に解決する。

Long Term (Phase2) に関しては、次回会議 (2018 年 7 月カナダ) から本格的に議論が行われる予定。特に、今回は Amendment として簡単な言葉の言い回しの変更にとどめた Cyber Security と Stop System について議論された。

### 5 議事：

- ・ EMC (電磁両立性) …Amendment で扱う項目  
レギュレーションが各国・各地域で違いがあるので、

ISO 13766-1, -2 については例としての紹介にとどめる。また、EMC は ASAMS に対しては、機械単体ではなくシステムに課すものとの定義する。(ただし、オフィス内のサーバやコンピュータは別)

- ・ ブレーキ、ステアリングシステム…Amendment で扱う項目

本規格ではブレーキは ISO 3450、ステアリングは ISO 5010 を多く参照しているが、ASAM は必ずしも機械の最大速度で走行するわけではなく、システムの制約がある。システムが規定する条件下で基準を達成することを要求する文面に変更する。

つまり、機械の能力上限ではなくシステムにおける与えられた条件下で試験を行えばよい。そして、その旨をレポートに記載すればよいこととする。

- ・ サイバーセキュリティ…Amendment で扱う項目

前回、Cyber Security は用語として正確でない、という議論が延々とされ、Information Security という提案となったが、既に Cyber Security は一般的な用語になっており、その方が解り易いということで改めて Cyber Security を用いることとなった。

また、一部の内容追加の提案があったが、今回の Amendment は小変更にとどめて短期に施行したいとのプロジェクトリーダーの考えもあり、Amendment では議論せずに追加項目等は Phase 2 (Long Term) として扱うこととなった。

- ・ 確認 (Verification) プロセス…Amendment で扱う項目

ISO 17757 の確認は、製造者、システムインテグレータ、サイトマネージャの三者がそれぞれの責任を果たして行うというものであるが、どの項目に対していずれの部門が責任を負うかは、システムの仕様毎に異なるので、そのシステムに応じた担当部門がチェック欄にサインする、という様式のシートとすることとなった。このシートはチェックシートという位置づけにもなるので、チェック欄を追加する。

- ・ ストップシステム…Phase 2 (Long Term) で扱う項目  
ストップシステムについて議論の提案があった。「ひ

とつのボタンが押されると、近くにいる機械は停止、少し離れた場所にいる機械は減速、さらに遠い場所にいる機械には影響しない」というシステムを定義してはどうかという案が提案された。多くのメンバーは、そこまで定義しなくともよいのではないかという雰囲気ではあったが、今回は潜在的な適用範囲として提案することとした。

・その他

次回以降、Phase 2 として保留していた項目の議論となる。最初にストップシステム、次いでサイバーセ

キュリティ等も新業務項目提案として扱うことが予想される。また、過去に議論のあったインターオペラビリティも、今後再び議論されるものとする。

## 6 今後の予定：

今回議論した内容の詳細検討および追加項目検討を行う。

2018 年 6 月 Amendment の DIS 投票開始

2018 年 7 月 16-17 日 JWG 会議（カナダ）

2018 年 12 月又は 2019 年 1 月

JWG 会議（日本又はオーストラリア）

以上

